

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-1
多様な自然の保全

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

自然環境課 森脇 幸

電話番号

0852-22-5346

事務事業の名称	自然環境保全地域の保全事業	
目的	(1) 対象	自然環境保全地域の自然
	(2) 意図	優れた自然環境を保全するため、自然環境保全地域を指定し、多様な生態系を守る。
事業概要	「島根県自然環境保全条例」に基づき指定している「島根県自然環境保全地域」の適正な保全を図るため、地元の保護育成団体に保護管理を委託するとともに、自然保護指導員を配置し、巡視活動等を実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	自然環境保全地域の数	目標値		6.0	6.0	6.0	6.0	地域
	式・定義	自然環境保全地域の数	取組目標値						
			実績値	6.0	6.0	6.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,142	2,073
うち一般財源 (千円)	1,142	1,160

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・自然環境保全地域（6地域）の維持管理を各地域の地元住民で構成している保護育成会に委託している。
- ・赤名湿地性植物群落自然環境保全地域については、地元保護育成会、町、県が連携してボランティアを募り、草刈り等の保全活動を実施した（40人参加、6月）。
- ・自然保護指導員（6人）による巡視報告は65件で前年度と比べて10件増加した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・地元保護育成会の維持管理と自然保護指導員による巡視活動や観察者への適切な指導により自然環境保全地域（6地域）の自然環境の保全が概ね図られている。
- ・自然保護指導員からの巡視報告件数が昨年度と比べて増加し、巡視活動の活発化と自然保護意識の高揚がみられる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・自然保護指導員及び地元保護育成会の活動の縮小が懸念
- ・環境の悪化、生物多様性の劣化が懸念

②困っている状況が発生している「原因」

- ・人口減少と高齢化による地元保護育成会会員及び自然保護指導員の担い手減少
- ・以前、県で整備した施設が老朽化している
- ・近年の豪雨により、適切な自然環境が損なわれている

③原因を解消するための「課題」

- ・地元保護育成会会員及び自然保護指導員の担い手育成、他地域のボランティア団体との連携・協力が必要
- ・既施設や保全地域の現況把握と対策

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・地元保護育成会及び自然保護指導員と意見交換しながら今後の維持管理体制・方法等を検討する。
- ・広報・PR等を通して自然環境保全地域でのボランティア活動への参加を広く呼びかけ、自然保護に興味・関心のある人の掘り起こしを図り、ボランティア活動への参加を促す。
- ・施設の維持修繕、自然環境保全のための対策を実施する。